

## 愛知県福祉サービス第三評価事業 評価結果

### ①第三者評価機関名

NPO あいち障害者センター
----------------

### ②施設・事業所情報

名称：北方あすなろ作業所	種別：生活介護／就労継続支援B型
代表者氏名：村井 雅人	定員20名：生活介護10名 就労継続B型10名
所在地：愛知県一宮市北方町中島字往還南2番地5	
TEL：0586（85）7152	
ホームページ：法人HP <a href="http://www.kisogawa-fukushikai.or.jp">http://www.kisogawa-fukushikai.or.jp</a>	
<b>【施設・事業所の概要】 障害福祉サービス事業（生活介護・就労継続支援B型）</b>	
開設年月日 2017年6月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人きそがわ福祉会	
職員数	常勤職員：6名 非常勤職員 7名
専門職員	サービス管理責任者 1名 調理員 1名
	生活支援員・職業指導員 8名 看護師 1名
	目標工賃達成指導員 2名 機能訓練指導員
施設・設備の概要	（設備等）

### ③理念・基本方針

1992年にきそがわ福祉会の基本理念を定め、その後、今日的な社会福祉を取り巻く状況等を踏まえ法人基本理念を以下のように見直した。

[1] わたしたちは、一人一人の利用者の人生が充実し、日々を生き生きと暮らしていけるような事業を営んでいきます。

[2] わたしたちは、利用者・関係者・地域の人々が、この地域で安心して暮らし続けていけるための社会、まちづくりに貢献します。

[3] わたしたちは、上記を実現していくためにも、実践・運動・経営に関して様々な事例を学びつつ、社会福祉の諸制度等が前進していくための活動を大切にします。

### ④施設・事業所の特徴的な取組

生活介護と就労継続支援B型事業所で定員は各10名・計20名が通所している。開設は2017年6月。

- ・男女とも平均年齢25歳と若く、権利の主体者である利用者の自己決定を大切に、自律・自立生活の力が養えるよう取組んでいる。
- ・今年度の一泊旅行は、秋にセントレア・竹島水水族館・浜名湖パルパルで過ごし、利用者同士の交流、楽しい時間と貴重な体験が味わえるように取組んでいる。誕生日会、クリスマス会のほかに、利用者自身が選んで買い物、外出など文化・スポーツにも接しながら社会参加や学びの機会を提供している。
- ・一人ひとりの働くことへの積極的な気持を大事にし、仕事の達成感や自己肯定感が得られ持続的に取組めるよう声かけ、支援を行っている。地元企業を中心に3社からの下請け仕事を受注し、企業との関係は良好である。現在、就労継続支援B型の平均工賃は7,500円程。自主製作品りや内職の効率化を計り、5年以内に平均工賃10,000円を目指している。

### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2018年10月1日（契約日）～ 2019年3月6日（評価決定日）
受審回数 （前回の受審時期）	初回（年度）

## ⑥総評

### ◇特に評価の高い点

- ・利用者を権利主体と位置付け、利用者自身が決めることを支援の基本に据えている。意思疎通が困難な利用者には選択肢の提供など願いや想いを汲み取る努力を行っている。
- ・法人の虐待防止委員会の会議内容などを職場で情報共有して、利用者の権利侵害の疑いに敏感になれるよう職員で話し合っている。家庭内での権利侵害が疑われるケースも含め関係機関と連携し、早期対応が図れるよう日常的に関係強化に努めている。
- ・生活介護と就労継続B型の班ごとに利用者自らが選べる環境作りと支援に取組み、買い物やカラオケ、温水プールなど日中・余暇活動を行っている。
- ・就労支援の基本は利用者の得意な面に着目し、無理がない仕事かどうかを検討して適切な仕事内容となるよう取組んでいる。タイヤ交換をやりたい利用者の希望を具体化し、法人内の車両や職員の協力を得て職場開拓・タイヤ交換の仕事をスタートさせた。また、一般企業を希望する利用者の職場見学に同行し就労支援に取組んでいる。（4月より一般就労が内定した利用者1名）

### ◇改善を求められる点

- ・職員育成では職員研修計画と法人研修を基本にすすめているが、年度末の振り返りに加え職員研修計画の実施状況を把握しながら、中間段階での職員面談や到達点、課題を確認しながら取り組むことが求められる。
- ・非常勤職員が参加可能な会議や研修のあり方、体制保障について当該職員の意向を踏まえた検討が必要である。
- ・リスクマネジメントの取り組みでは月間を設けるなどして「ヒヤリハット」事例の積み上げ、会議のスケジュール化などメリハリのある活動が必要である。
- ・現在、管理者がホームの責任者を兼務しておりその解消に向けて法人に期待したい。

## ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

- ・開所して間もなく2年になりますが、利用者様も定員に達し、各現場の人間関係や環境にも、みなさん慣れてきたように感じます。利用者みなさん年齢が若いだけあって、縦の発達・横の発達が著しく成長されているのが身近にいて感じます。仕事や取り組みや療育活動を通して、社会性・人間性の幅を更に広げていけるよう、支援・指導していけるよう、職員一丸になって日々取り組んでいきます。
- ・各現場の会議内で、「ヒヤリ・ハット」事例の検討会議を行っていき、職員会議内で共有し意見交換を行っていきます。

## ⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

## 北方あすなろ作業所 評価項目（細目）の評価結果

※「a・b・c」評価をし、評価細目毎に評価機関の判定理由等のコメントを記述する、

### 評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	障1	(a) ・ b ・ c
<コメント>法人の理念、基本方針が明文化され職員研修会や保護者会で周知している。ホームページやパンフレットに記載されている。		

#### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	障2	(a) ・ b ・ c
<コメント>法人の所長会議等で環境変化に対応できるよう国・自治体の制度・政策などの把握・分析に努めている。一宮市の自立支援協議会や特別支援学校との情報交換、連携など福祉ニーズの把握に取り組んでいる。		
I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	障3	(a) ・ b ・ c
<コメント>開所2年目である。隣接する「なごやかホーム」とともに地域生活の新拠点として定員20名の生活介護・就労支援B型事業所の安定的な運営に努めている。		

#### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	障4	a ・ (b) ・ c
<コメント>法人の中・長期的なビジョンと計画はあるが、開所二年目を迎え人材育成などの課題を踏まえた事業計画に仕上げていくことが必要である。		
I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	障5	(a) ・ b ・ c
<コメント>法人計画に基づき単年度の計画が策定されている。		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	障6	(a) ・ b ・ c
<コメント>事業計画は職員、利用者などの意見・要望が反映されている。法人の会議内容は必要に応じて職員に書面などで伝え理解を促している。		
I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	障7	(a) ・ b ・ c
<コメント>事業計画は契約時や保護者会等で理解が得られるように努めている。月間予定表、一泊旅行のお知らせとしおりを利用者等に配布している。工賃は給料規程に従って毎月給料明細書を添えて渡している。		

#### I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	障8	(a) ・ b ・ c
<コメント>生活介護と就労支援B型の各部署でケース検討など日常的に支援の向上に取り組んでいる。月3回の職員会議に非常勤職員も参加し情報共有を行っている。法人及び個人の研修計画を立て職員育成と質の向上に努めている。		

I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	障9	a ・ ㉔ ・ c
<p>&lt;コメント&gt;年度末の職員の「振り返り」、保護者面談や保護者会でも出された意見・要望、仲間対応の気付きなどを基に改善を図っている。給付費の収支バランスや利用者の工賃確保など、引き続き検討課題である。</p>		

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	障10	㉔ ・ b ・ c
<p>&lt;コメント&gt;福祉サービスを担う職員のまとまりに意欲的に取組んでいる。</p>		
Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	障11	㉔ ・ b ・ c
<p>&lt;コメント&gt;法人内・外の研修会等に積極的に参加し、職員に情報提供している。障害者理解と虐待防止の法人研修に職員参加を促すなど利用者の権利擁護の視点を学ぶ機会として取組んでいる。</p>		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	障12	㉔ ・ b ・ c
<p>&lt;コメント&gt;よりよい環境のもとで職員の持ち味が発揮できるよう職員の様子に気を配り、必要に応じて個別相談や懇談を行っている。</p>		
Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	障13	㉔ ・ b ・ c
<p>&lt;コメント&gt;事業所開設から一年半が経ち、利用者も定員に達し職員体制は充足していることから安定的な事業所運営が進んでいる。</p>		

### Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	障14	㉔ ・ b ・ c
<p>&lt;コメント&gt;法人は各事業所の現状を踏まえ職員の募集・確保の努力を行っている。また経験年数に応じた研修を用意し職員の定着を図る取組を継続している。</p>		
Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	障15	㉔ ・ b ・ c
<p>&lt;コメント&gt;法人本部で人事管理と職員採用を行っている。法人全体ではホームの職員配置が厳しい状況である。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	障16	㉔ ・ b ・ c
<p>&lt;コメント&gt;職員との個別面談を設け、就業状況など確認して希望に即した勤務ができるよう取組んでいる。出された意見や要望は働きやすい職場づくりに活用している。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	障17	a ・ ㉔ ・ c
<p>&lt;コメント&gt;職員研修計画と法人研修を基本に職員の育成に取り組んでいる。職員の研修計画の実施状況を把握しながら助言など側面援助が必要である。非常勤職員の育成では工夫・改善が必要である。</p>		

II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	障18	① ・ b ・ c
＜コメント＞法人の全職員研修は国の制度や身近な支援課題について研修が行われている。法人内外からの研修案内を職員に周知し積極的な研修参加を促している。		
II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	障19	① ・ b ・ c
＜コメント＞法人及び事業所の教育・研修の機会が確保されている。外部で開催される研修会等の資料も職員に配布し参加を呼び掛けている。非常勤職員は時間保障（賃金）がされる。		
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
II-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	障20	a ・ ① ・ c
＜コメント＞法人として実習生等の教育・育成の取組を行っている。当該事業所では実習生は受け入れていないが法人として位置づけられれば対応していく意向である。		

### II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	障21	① ・ b ・ c
＜コメント＞法人のホームページに福祉施設・事業所の事業、財務等の情報が公開されている。定期発行の「福祉会だより」は利用者・家族、関係機関に配布され事業所の取組や利用者の様子を紹介している。		
II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	障22	① ・ b ・ c
＜コメント＞事務、経理、取引ルール等は法人が規則に従って適切に処理している。		

### II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	障23	① ・ b ・ c
＜コメント＞法人の「ほのほのまつり」、「なごみの広場秋の収穫祭」などの行事で地域との交流の場、知ってもらう機会を設けている。		
II-4-(1)-② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	障24	① ・ b ・ c
＜コメント＞特別支援学級の自由課題で生徒の福祉体験を6月と10月に受け入れている。法人としてボランティアの受け入れの基本姿勢を明確にしている。		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	障25	① ・ b ・ c
＜コメント＞相談支援事業所、特別支援学校、病院等の関係機関との情報交換・連携を深めている。		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
II-4-(3)-① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	障26	① ・ b ・ c
＜コメント＞小学生の福祉体験で生徒を受け入れている。福祉避難所になっている。		
II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	障27	① ・ b ・ c
＜コメント＞町内のゴミ集積場所として事業所の土地を提供し清掃などの管理を行っている。		

### 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

#### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	障28	① ・ b ・ c
＜コメント＞権利の主体は利用者であることを職員会議やケース検討会議などで深めながら、共通の理解と支援に取組んでいる。法人の基本理念及び職員行動規範に利用者の尊重と支援が明記されている。		
Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	障29	① ・ b ・ c
＜コメント＞利用者の権利擁護を基本に福祉サービスが提供されている。法人の「職員行動指針」、事業所の「職員行動規範」及び「利用者対応の原則」に権利擁護の内容が明示されている。		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	障30	① ・ b ・ c
＜コメント＞利用希望者が納得できるように不安や疑問に耳を傾け、必要な情報の提供や説明を行っている。また特別支援学校での説明会や利用体験にも取組んでいる。		
Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	障31	① ・ b ・ c
＜コメント＞利用者・家族に時間をかけて丁寧に説明し理解が得られるように努めている。		
Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	障32	① ・ b ・ c
＜コメント＞福祉施設・事業所などの変更が生じる時は、利用者・家族への情報提供と懇談を踏まえて福祉サービスが途切れない様に対応している。個別支援会議への参加、移行先事業所との連携もすすめている。		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	障33	① ・ b ・ c
＜コメント＞生活介護と就労B型毎に利用者の意見を取り入れた買い物やカラオケ、温水プールなど日中、余暇活動を行っている。仕事内容を選択制にしたり柔軟な対応で利用者満足の向上に取組んでいる。		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	障34	① ・ b ・ c
＜コメント＞苦情申し立てについて掲示し、保護者会等で周知している。解決に向けての仕組みも確立している。		
Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	障35	① ・ b ・ c
＜コメント＞日々の支援を通して利用者が話しやすい環境づくりを行っている。相談や意見を述べる際にいくつかの方法や相手を選べることを利用者・家族面談、保護者会で伝えている。		
Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	障36	① ・ b ・ c
＜コメント＞利用者からの相談や意見は担当職員が聴き取り内容を記録し、必要に応じて職員への周知と話し合いの場を持っている。意志疎通が十分でない利用者の場合、家族の意見・要望に積極的に傾聴している。		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	障37	a ・ ① ・ c
＜コメント＞利用者が事業所外に飛び出さないよう休憩時間の保安体制の実施など安心・安全を目的に取組が行われている。「ヒヤリハット」会議を年間計画に組み込むなど事例検討と見直しの定着化が求められる。		

Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	障38	① ・ b ・ c
＜コメント＞希望者にはインフルエンザの予防接種をすすめたり、職員の予防接種の費用補助も行っている。手洗い・うがいや事業所内の主要箇所の除菌等のふき取り清掃に取り組んでいる。感染症予防マニュアルを整備している。		
Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	障39	a ・ ② ・ c
＜コメント＞「非常災害対策計画」で責任体制、担当者の役割分担を決めている。防災訓練を年2回実施し利用者の安全確保の取組を行っている。非常時の水や食料などの備蓄が予定されている。		

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	障40	① ・ b ・ c
＜コメント＞標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。文書は職員採用時に配布している。		
Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	障41	① ・ b ・ c
＜コメント＞ケース検討会議等で必要に応じて見直しを行っている。		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別支援計画を適切に策定している。	障42	① ・ b ・ c
＜コメント＞アセスメントにもとづき利用者・家族の要望を取り入れ個別支援計画を策定している。		
Ⅲ-2-(2)-② 定期的に個別支援計画の評価・見直しを行っている。	障43	① ・ b ・ c
＜コメント＞定期的に評価・見直しを行っている。		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	障44	① ・ b ・ c
＜コメント＞個別支援計画による福祉サービスの実施状況は定められた様式で記録されている。利用者の情報はフロア会議や夕方の打ち合わせ、職員会議で全体への周知を行っている。		
Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	障45	① ・ b ・ c
＜コメント＞ケースファイルにまとめ指定の保管庫で管理されている。職員行動規範を定め利用者等の情報流出の防止に努め、利用者等からの情報開示要求には個人情報の保護に留意しながら必要最低限の提供を行っている。		

### A-1 利用者の尊重と権利擁護

		第三者評価結果
A-1-(1) 自己決定の尊重		
A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	障46	① ・ b ・ c
＜コメント＞利用者自身が決めることを支援の基本に据えている。本人意向を確認しながら日中活動や余暇活動の取組も利用者自らが選べる環境づくりと支援に取り組んでいる。意志疎通の困難な利用者には選択肢の提供など願いや意思が引き出せるように努めている。		

A-1-(2) 権利侵害の防止等

A-1-(2)-① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	障47	① ・ b ・ c
<p>&lt;コメント&gt;法人の虐待防止委員会の会議内容などを職場で情報共有を行い、利用者の権利侵害の疑いに敏感になれるよう職員会議で話し合っている。虐待等の権利侵害では基幹相談支援センターと連携しながら取組むとしている。</p>		

A-2 生活支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 支援の基本		
A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	障48	① ・ b ・ c
<p>&lt;コメント&gt;利用者自身のできることは自分でできるように見守りを基本に声かけ・支援を行っている。</p>		
A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	障49	① ・ b ・ c
<p>&lt;コメント&gt;言葉や利用者固有のサイン、表情、絵や写真を使うなど障害特性にあわせて意志疎通を図りながら、利用者に応じた支援に取り組んでいる。</p>		

A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	障50	① ・ b ・ c
<p>&lt;コメント&gt;日常的な支援のなかで気軽に話し合えるような信頼関係づくりに取り組んでいる。希望者にはその都度時間を設けて話を聴き必要な対応を行っている。定期的な話し合いの場を設けている利用者もいる。</p>		
A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	障51	① ・ b ・ c
<p>&lt;コメント&gt;個別支援計画にもとづく日中活動を行っている。また文化・レク活動をはじめ買い物などの外出は利用者の意向を取り入れ、必要な支援を行っている。</p>		
A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	障52	① ・ b ・ c
<p>&lt;コメント&gt;障害理解を深めるため法人内研修の参加、職員会議やケース検討の場で話し合っている。障害の状況に応じた適切な支援が行えるよう努力している。</p>		

A-2-(2) 日常的な生活支援

A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	障53	① ・ b ・ c
<p>&lt;コメント&gt;個別支援計画にもとづいて日々の生活の中で目標も設定し、生活支援が行われている。</p>		

A-2-(3) 生活環境

A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	障54	① ・ b ・ c
<p>&lt;コメント&gt;利用者が過ごす居室、食堂、トイレ等は清潔で明るい雰囲気が保たれている。事業所が道路に面しているため休憩時間や昼休みは保安要員を配置して安心・安全な生活環境に努めている。</p>		

A-2-(4) 機能訓練・生活訓練

A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	障55	① ・ b ・ c
<p>&lt;コメント&gt;支援計画にもとづき朝のリズム体操、歩行訓練、手洗い、歯磨き、食事の配下膳、買い物など利用者の心身の状況に配慮しながら機能面、生活面での訓練が行われている。</p>		



A-2-(5) 健康管理・医療的な支援		
A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	障56	① ・ b ・ c
＜コメント＞毎日、利用者の健康状態を把握し、毎月嘱託医師の往診時に必要な対応について指導、助言を受けている。緊急時には看護師に連絡・相談をして家庭や協力医院への連絡など迅速な対応に努めている。		
A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	障57	① ・ b ・ c
＜コメント＞薬の管理及び服薬確認は看護師及び職員が適切な手順で行っている。		
A-2-(6) 社会参加、学習支援		
A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	障58	① ・ b ・ c
＜コメント＞月一回の外出や季節の行事、買い物などは生活介護、就労継続B型のグループ毎に話し合い利用者の意向を中心に計画・具体化している。一泊旅行は社会見学や学習の機会の場となっている。		
A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援		
A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	障59	① ・ b ・ c
＜コメント＞グループホーム希望者にはホーム利用ができるよう家族や相談支援機関と連携しながら支援をしている。地域生活への移行の意欲を高めるため短期・体験入所も勧めている。		
A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援		
A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	障60	① ・ b ・ c
＜コメント＞二か月に1回の保護者会に参加し家族との連携・交流を深め必要に応じて家族支援を行っている。		
A-3 発達支援		
		第三者評価結果
A-3-(1) 発達支援		
A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	障61	非該当
＜コメント＞		

#### A-4 就労支援

		第三者評価結果
A-4-(1) 就労支援		
A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	障62	① ・ b ・ c
＜コメント＞一人ひとりの働くことへの積極的な気持を大事にし仕事の達成感や持続的に取組ができるよう声かけや支援を行っている。生活介護の利用者を同法人のcaféKURODAに一週間派遣して他職場体験に取組んでいる。		
A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	障63	① ・ b ・ c
＜コメント＞利用者の心身の状況に応じた仕事・作業内容を検討し提供している。		
A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	障64	① ・ b ・ c
＜コメント＞「タイヤ交換が得意。やりたい」という利用者の希望を具体化し、法人内の車両や職員の協力も得ながらタイヤ交換の仕事をスタートさせている。また、一般企業を希望する利用者の職場見学に同行し就労支援を行っている。		